ポスター発表

<第1日目 9月15日(水) 午後>

会場：ポータルサイト内ポスター会場ページ

コアタイム：奇数番号：13:00-15:00 偶数番号：15:15-17:15

#印は、若手・学生ポスター賞の対象であることを示します。

P-1#

つくば、横浜および京都における総 OH 反応性とオゾン生成に関する大気質研究

○黎 珈汝¹, 河野 七瀬¹, 坂本 陽介^{1,2}, 村野 健太郎¹, 梶井 克純^{1,2} (1 京都大学, 2 国立環境研究所)

P-2#

群馬県における気象条件を考慮した近年の光化学オキシダント濃度の解析

○坂本 祥一¹, 熊谷 貴美代¹, 田子 博¹, 菅田 誠治² (1 群馬県衛生環境研究所, 2 国立環境研究所)

P-3#

関東地域におけるオゾンの長期観測データ (1991~2018 年度) の推移と特徴

○市川 有二郎, 佐坂 公規 (埼玉県環境科学国際センター)

P-4#

未知 OH 反応性とエアロゾルへのラジカル取り込みを考慮した 2020 年 9 月の京都市におけるオゾン生成レジーム判定

○Pham Gia Huy¹, 河野 七瀬¹, 坂本 陽介^{1,2}, 梶井 克純^{1,2} (1 京都大学大学院, 2 国立環境研究所)

P-5#

関東地方における 2050 年の大気質予測

○山田谷 佳明¹, 林 健太郎², 森川 多津子³, 山田 裕之², 田中 光太郎¹, 岡山 紳一郎⁴, 柴田 芳昭⁵, 中田 泰正⁶, 渡辺 宏江⁴, 木所 徹⁶ (1 茨城大学, 2 東京電機大学, 3 日本自動車研究所, 4 日産自動車, 5 大気環境総合センター, 6 トヨタ自動車)

P-6#

新自動車排ガス規制の実施に伴った金沢市の大気中多環芳香族炭化水素の経年変動

○邢 万里¹, 楊 露¹, 張 昊¹, 張 セン¹, 王 琰¹, BAI Pengchu¹, 張 露露², 早川 和一², 長尾 誠也², 唐 寧^{2,3} (1 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科, 2 金沢大学環日本海環境研究センター, 3 金沢大学医薬保健研究域)

P-7#

都市大気観測に向けたガス状有機硝酸連続測定装置の改良

○大原 和¹, 塩路 貴大¹, 河野 七瀬², 坂本 陽介^{2,3}, 梶井 克純^{2,3}, 椎木 弘¹, 定永 靖宗¹ (1 大阪府立大学, 2 京都大学, 3 国立環境研究所)

P-8#

ファインバブル化手法を用いた高濃度 VOC ガスの液相捕捉処理

○改發 彬浩¹, 関口 和彦¹, 安井 文男² (1 埼玉大・院・理工, 2 (株) テクノ菱和)

P-9#

テルペン類の OH 酸化による RO₂ ラジカルと NO₂ の反応速度定数についての研究

○平井 力 (京大院・人環)

P-10#

富士山南東麓における無人航空機を用いた揮発性有機化合物の鉛直観測 (1)

○石川 翔¹, 大河内 博¹, 速水 洋¹, 勝見 尚也², 皆巳 幸也², 竹内 政樹³, 戸田 敬⁴, 加藤 俊吾⁵, 三浦 和彦^{6,10}, 小林 拓⁷, 和田 龍一⁸, 南齋 勉⁹, 土器屋 由紀子¹⁰, 畠山 史郎¹⁰, 山本 祐志¹¹, 三阪 和弘¹¹ (1早稲田大学, 2石川県立大学, 3徳島大学, 4熊本大学, 5東京都立大学, 6東京理科大学, 7山梨大学, 8帝京科学大学, 9静岡理工科大学, 10富士山環境研究センター, 11グリーンブルー株式会社)

P-11#

細胞曝露実験を前提とした粒子懸濁液の粒径分布測定

○大金 葉子, 奥田 知明 (慶應義塾大学工学部応用化学科)

P-12#

光熱変換赤外分光法 (O-PTIR) を用いた冬季富士山南東麓における大気中マイクロプラスチックの特徴

○趙 鶴立¹, 大河内 博¹, 吉田 昇永¹, 速水 洋¹, 勝見 尚也², 竹内 政樹³, 宮崎 あかね⁴, 緒方 祐子⁵, 板谷 庸平⁵, 小林 華栄⁶, 浦山 憲雄⁶, 新居田 恭弘⁷, 高田 秀重⁸ (1早稲田大学, 2石川県立大学, 3徳島大学, 4日本女子大学, 5柴田科学株式会社, 6日本サーマル・コンサルティング, 7パーキンエルマージャパン, 8東京農工大学)

P-13#

バマコ・マリ市における日々の粒子状物質 (PM_{2.5}) 曝露の診断.

○Alimata Sidibe¹, 坂本 陽介^{1,3}, 村野 健太郎¹, Koita Ousmane², Traore Ibrahim², 梶井 克純^{1,3} (1京都大学, 2Bamako University, 3NIES)

P-14#

日本で観測された高分解能降水データが示す酸性雨の動態 -2000~2017-

○加藤 悠平 (新潟大学・自然科学研究科)

P-15#

首都圏近郊山間部森林域における渓流水の化学特性と大気沈着の影響評価 (6)

○浅見 匠洋¹, 大河内 博¹, 速水 洋¹, 井川 学², 山田 佳裕³, 佐瀬 裕之⁴, 諸橋 将雪⁴, 中野 孝教⁵ (1早稲田大学大学院 創造理工学研究科, 2神奈川大学, 3香川大学, 4アジア大気汚染研究センター, 5総合地球環境学研究所)

P-16#

パーソナルケア商品中のマイクロカプセルの同定と健康・環境影響評価 (2)

○藤川 真智子¹, 大河内 博¹, 齊藤 純一¹, 後藤 隆弘¹, 新居田 恭弘², 高田 秀重³ (1早稲田大学, 2パーキンエルマージャパン, 3東京農工大学)

P-17#

デニューダ法による長期観測に基づく東京郊外の森林における大気中 NH₃ 濃度変動の特徴

○徐 懋¹, 松本 涼太², 反町 篤行^{3,1}, 高木 健太郎⁴, 松田 和秀^{1,2} (1東京農工大学大学院連合農学研究科, 2東京農工大学大学院農学府, 3福島県立医科大学, 4北海道大学)

P-18#

さいたま市・東京都市部における秋季花粉飛散挙動の調査

○WANG WEIQIAN¹, 王 青躍¹, 落合 善美² (1埼玉大学大学院, 2花粉症クエスト)

P-19#

2020年の緊急事態宣言下に見えた自動車交通変化の大気汚染への影響

○米持 真一 (埼玉県環境科学国際センター)

P-20#

郊外居住大気における自動車起源粒子成分の動態

○工藤 慎治, 中川 澄香, 村尾 圭佑, 呂 曉丹 (滋賀県立大学)

P-21#

肺沈着表面積に基づいた実環境大気粒子の酸化能評価

○栗原 一嘉¹, 岩田 歩¹, Horwitz Samuel¹, 松木 篤², 奥田 知明¹ (1慶應義塾大学大学院・理工学研究科, 2金沢大学・環日本海域環境研究センター)

P-22#

大阪府堺市におけるアンモニアガスの向流管吸収/吸光光度法による連続測定

○太田垣 湧真, 藤井 佑介, 竹中 規訓 (大阪府立大学大学院)

P-23#

台風時における大気エアロゾルの有機物や界面活性剤に関する研究

○平安 瞳¹, 蔵元 里佐子¹, 立津 さやの², 宮城 風香², 本村 愛乃² (1琉球大院・理工, 2琉球大・理)

P-24#

日本の EANET 遠隔局における粒子・ガス状硫黄および窒素化合物濃度の長期トレンド評価

○小澤 菜由子, 松田 和秀 (東京農工大学大学院農学府)

P-25#

E A N E T 湿性・乾性モニタリングにおける分析精度向上にむけた解析 (3報)

○二見 真理, 弓場 彬江, 桐山 悠祐, 町田 裕史, 大泉 毅, 佐藤 啓市 (アジア大気汚染研究センター)

P-26#

富士山麓太郎坊における CO, O₃, SO₂ の通年観測

○矢田 茂久¹, 中村 まりあ², 辰巳 紘奨¹, 加藤 俊吾², 和田 龍一³, 三浦 和彦^{4,5}, 大河内 博⁶, 皆巳 幸也⁷ (1東京都立大学 大学院, 2東京都立大学, 3帝京平成大学, 4東京理科大学, 5富士山環境研究センター, 6早稲田大学, 7石川県立大学)

P-27#

植物による VOC 吸収モデルの開発

○山根 水月, 谷 晃 (静岡県立大学)

P-28#

ヤシ類のイソプレン放出能の簡易測定プロトコルの検討

○岡本 啓志, 谷 晃 (静岡県立大学)

P-29#

金属標準粒子を用いたヒト肺胞基底上皮腺癌細胞 (A549) の応答性評価

○岡本 拓真, 岩田 歩, 奥田 知明 (慶應義塾大学 理工学部)

P-30#

エアロゾル粒子の気道模型に対する沈着率の検証

○石戸谷 滯, 岩田 歩, 奥田 知明 (慶應義塾大学 理工学部)

P-31#

AirQ+モデルを用いたの横浜市における NO₂ 長期曝露健康影響評価 (Health Impact Assessment)

○丸山 隆太¹, 荒井 裕春¹, 福崎 有希子², 中井 里史¹ (1横浜国立大学大学院環境情報学府, 2横浜市環境科学研究所)

P-32#

使用過程車から排出される微小粒子状物質の簡便な計測手法の検討

○上平 和季¹, 田中 光太郎¹, 境田 悟志¹, 金野 満¹, 丹下 健², 佐藤 進³ (1茨城大学, 2日本特殊陶業株式会社, 3東京工業大学)

P-33#

小型使用過程車におけるガソリンポート噴射車のPM・PN排出調査

○山崎 実 ((公財) 東京都環境公社東京都環境科学研究所)

P-34#

畜舎から排出される揮発性有機化合物の除去技術の開発

○相澤 有香¹, 田中 伸幸², 黒田 久雄³, 宮崎 あかね¹ (1日本女子大学, 2電力中央研究所, 3茨城大学)

P-35#

黄砂表面における花粉由来タンパク質のニトロ化促進に関する基礎的検討

○寺野 真梨 (京都大学大学院・エネ)

P-36#

キャノピー濃度勾配法を用いた森林におけるオゾンフラックス測定手法の検討

○山崎 萌香¹, 渡辺 誠¹, 反町 篤行², 松田 和秀¹ (1東京農工大学大学院・農学府, 2福島県立医科大学)

P-37#

パッシブサンプラーを用いた農地におけるNH₃濃度勾配の季節変化

○梅原 実玖, 伊藤 真利亜, 松田 和秀 (東京農工大学大学院農学府)

P-38#

大気-森林間のNH₃交換: 林上および林床における濃度勾配観測

○松本 涼太¹, 武 照杰¹, 徐 懋², 佐瀬 裕之³, 反町 篤行^{4,1}, 高木 健太郎⁵, 松田 和秀^{1,2} (1東京農工大学大学院農学府, 2東京農工大学大学院連合農学研究科, 3アジア大気汚染研究センター, 4福島県立医科大学, 5北海道大学)

P-39#

森林におけるエアロゾル個数濃度の粒径別鉛直プロファイル

○松本 響子¹, 反町 篤行², 松田 和秀¹ (1農工大・農, 2福島医大)

P-40#

森林における硝酸ガスおよび硝酸塩の乾性沈着: 林上および林床における濃度勾配観測

○武 照杰¹, 松本 涼太¹, 徐 懋², 佐瀬 裕之³, 反町 篤行^{4,1}, 高木 健太郎⁵, 松田 和秀^{1,2} (1東京農工大学大学院 農学府, 2東京農工大学大学院連合農学研究科, 3アジア大気汚染研究センター, 4福島県立医科大学, 5北海道大学)

P-41#

都市大気中農薬の実態解明と個人暴露評価のためのウェアブルサンプラーの開発 (3)

○駒場 啓祐¹, 大河内 博¹, 鈴木 美成², 川嶋 文人³ (1早稲田大学, 2国立医薬品食品衛生研究所, 3愛媛大学)

P-42#

深層学習による京都における大気汚染物質濃度予測

○池上 将太, 山本 浩平, 亀田 貴之 (京都大学大学院エネルギー研究科)

P-43#

SEM画像を用いたエアロゾルの形状識別と分類

○坂井 健太郎¹, 小岩井 亮汰¹, 土田 翔慶¹, 加藤 望亜², 森田 真人², 坂本 哲夫^{1,2} (1工学院大学大学院 工学研究科 電気・電子工学専攻, 2工学院大学 先進工学部 応用物理学科)

P-44#

粒子状物質がSARS-CoV-2の細胞内侵入に関与するタンパク質の発現に与える影響

○大森 一生¹, 石川 良賀¹, 本田 晶子^{1,2}, 佐川 友哉^{1,3}, 上田 佳代^{1,2}, 高野 裕久^{1,2} (1京大・院工, 2京大・院地球環境, 3京府医大・免疫内科)

P-45#

透明マスク作製のための粒子捕集用透明フィルターの開発

○柴田 雄大（慶應義塾大学理工学部）

P-46#

過酸化水素水を用いない過酸化水素ガス発生手法の検討

○近藤 直希¹, 岡田 暁¹, 関口 和彦¹, 安井 文男², 馬場 航哉²（¹埼玉大院・理工,²(株)テクノ菱和）

P-47#

化学・安定同位体分析を用いた都市型豪雨の実態と生成機構の解明(6)

○三原 直之¹, 大河内 博¹, 須合 俊貴¹, 内山 竜之介¹, 藤原 博伸¹, 鴨川 仁², 山田 佳裕³, 中野 孝教⁴（¹早大,²静岡県立大,³香川大,⁴地球研）

P-48

川崎市における O_x と前駆物質及び気象データの経年変化の解析について

○福永 顕規¹, 山田 大介², 佐藤 孝晴², 石田 真也², 藤田 一樹²（¹川崎市環境局環境総合研究所,²川崎市環境局）

P-49

川崎市における O_x と前駆物質の経年推移及びその関係性

○佐藤 孝晴, 山田 大介, 石田 真也, 藤田 一樹, 福永 顕規（川崎市環境局）

P-50

光化学オゾンの生成濃度と気温の相関性に関する補強データ

○吉門 洋（(国研) 産業技術総合研究所）

P-51

パッシブサンプラーによるオゾン及び二酸化窒素濃度測定法の改良について

○佐々木 博行¹, 清水 英幸², 高橋 善幸², 家合 浩明¹（¹新潟県保健環境科学研究所,²国立研究開発法人国立環境研究所）

P-52

東海近畿地域における近年の光化学オキシダント濃度の変化傾向

○高取 惇哉¹, 金森 信厚², 川上 七恵³, 小河 大樹^{4,5}, 平澤 幸代^{6,7}, 高倉 尚枝⁶, 西村 理恵⁸, 山本 真緒⁹, 熊谷 貴美代¹⁰, 菅田 誠治¹¹（¹滋賀県琵琶湖環境科学センター,²岐阜県保健環境研究所,³愛知県環境調査センター,⁴三重県保健環境研究所,⁵現・三重県環境生活部廃棄物対策局,⁶京都府保健環境研究所,⁷現・京都府乙訓保健所,⁸大阪府立環境農林水産総合研究所,⁹奈良県景観・環境総合センター,¹⁰群馬県衛生環境研究所,¹¹国立環境研究所）

P-53

2019年5月に発生した光化学オキシダント高濃度事例－関東地域の状況－

○熊谷 貴美代¹, 坂本 祥一¹, 田子 博¹, 鶴丸 央², 星 純也², 齊藤 伸治², 西村 理恵³, 高取 惇哉⁴, 菅田 誠治⁵（¹群馬県衛生環境研究所,²東京都環境科学研究所,³大阪府立環境農林水産総合研究所,⁴滋賀県琵琶湖環境科学センター,⁵国立環境研究所）

P-54

名古屋市の5月の光化学オキシダントにおける気象要因を調整した経年変化の検討

○山神 真紀子¹, 久恒 邦裕¹, 池盛 文数¹, 長田 和雄², 北田 敏廣³（¹名古屋市環境科学調査センター,²名古屋大学大学院環境学研究科,³豊橋技術科学大学）

P-55

近畿地方における2018年7月と2019年5月に発生した光化学オキシダント高濃度事例の比較

○西村 理恵¹, 熊谷 貴美代², 高取 惇哉³, 菅田 誠治⁴（¹地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所,²群馬県衛生環境研究所,³滋賀県琵琶湖環境科学センター,⁴国立研究開発法人国立環境研究所）

P-56

富山県における地上および上空の過酸化水素とホルムアルデヒド濃度の測定 (Ⅲ)

○渡辺 幸一, 楊 柳, 姫 玖玖, 中村 賢, 大谷 卓也, 長村 遥, 増田 竜之 (富山県立大学)

P-57

バッテリー駆動型パッシブサンプラー自動切替装置の開発: トルエン等の局所発生源探索

○長田 和雄¹, 小山 慎一², 星 純也³, 櫛島 智恵子³ (1名古屋大学大学院, ²ムラタ計測器サービス, ³東京都環境科学研究所)

P-58

八王子市での揮発性有機化合物の長期測定

○辰巳 紘奨, カトウ 俊吾 (都立大)

P-59

光化学オキシダント生成に関わる VOCs 及びアルデヒド類の昼夜変動 -2020 年春季・夏季の全国調査-

○中川 修平¹, 熊谷 貴美代², 坂本 祥一², 高取 惇哉³, 梅津 貴史⁴, 林 英和⁵, 小田 直哉⁶, 鶴丸 央⁷, 大橋 泰浩⁸, 風見 千夏⁹, 小河 大樹^{10,20}, 高倉 尚枝¹¹, 西村 理恵¹², 山本 真緒¹³, 上田 真久¹⁴, 園山 隼人¹⁵, 西村 佳恵¹⁶, 山本 梓¹⁷, 角田 朋生¹⁸, 菅田 誠治¹⁹ (1福岡県保健環境研究所, ²群馬県衛生環境研究所, ³滋賀県琵琶湖環境科学センター, ⁴山形県環境科学センター, ⁵仙台市衛生研究所, ⁶茨城県霞ヶ浦環境科学センター, ⁷東京都環境科学研究所, ⁸山梨県衛生環境研究所, ⁹千葉市環境保健研究所, ¹⁰三重県保健環境研究所, ¹¹京都府保健環境研究所, ¹²大阪府立環境農林水産総合研究所, ¹³奈良県景観・環境総合センター, ¹⁴名古屋市環境科学調査センター, ¹⁵島根県保健環境科学研究所, ¹⁶岡山県環境保健センター, ¹⁷佐賀県環境センター, ¹⁸熊本県保健環境科学研究所, ¹⁹国環研, ²⁰三重県環境生活部廃棄物対策局)

P-60

埼玉県内における近年の大気中 VOC の動向

○佐坂 公規, 市川 有二郎 (埼玉県環境科学国際センター)

P-61

GC-MS/MS による PM_{2.5} 中の非・微極性有機物の高感度多成分分析法の検討

○池盛 文数 (名古屋市環境科学調査センター)

P-62

ICP-MS/MS による PM_{2.5} 中の無機元素 70 成分の分析検討

○岩山 直樹 (株式会社静環検査センター)

P-63

新潟巻における PM_{2.5} 自動測定機捕集ろ紙を用いた PM_{2.5} 成分分析

○弓場 彬江¹, 高橋 克行², 柴崎 みはる², 吉村 有史², 佐藤 啓市¹ (1(一財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター, ²(一財)日本環境衛生センター 東日本支局)

P-64

PM_{2.5} 自動測定機の精度管理について(2)

○石井 克巳, 石原 健 (千葉県環境研究センター)

P-65

測定局における PM_{2.5} と SPM 測定値の関係について

○田村 憲治¹, 原 邦夫², 佐々木 俊介³, 荻田 香苗⁴, 矢野 栄二⁵ (1国立研究開発法人 国立環境研究所, ²産業医科大学, ³早稲田大学, ⁴杏林大学, ⁵帝京大学)

P-66

光散乱式 PM 測定における校正係数への環境影響

○山田 裕之（東京電機大学）

P-67

都市大気中燃焼由来粒子， PAH 及び NPAH の発生源解析法（NP 法）の開発

○早川 和一（金沢大学・環日セ）

P-68

タイヤ摩耗粉塵のリアルタイム計測法の開発

○利根川 義男（（一財）日本自動車研究所）

P-69

遠隔地で多点展開が可能な PM_{2.5}、Ox、CO、NO_x などの大気汚染物質の超小型でローコストな計測装置の開発

○松見 豊¹，中山 智喜²，林田 佐智子^{3,4}，上田 佳代⁵，安富 奈津子³，荒木 晶³，山崎 高幸¹，岡本 渉¹，高見 昭憲⁶，藤谷 雄二⁶，入江 仁士⁷（¹名古屋大・宇宙地球研，²長崎大学，³総合地球研，⁴奈良女子大，⁵京都大，⁶国立環境研，⁷千葉大学）

P-70

全国 PM_{2.5} 成分自動測定結果の比較による地域差の検討

○吉野 彩子¹，高見 昭憲¹，菅田 誠治¹，道川 武紘²，山崎 新¹（¹国立環境研究所，²東邦大学）

P-71

コロナ禍の自動車交通量変化を用いた交通由来 PM_{2.5} の削減可能性の検討

○豊永 悟史¹，小原 大翼^{1,2}，古澤 尚英^{2,3}，中島 尚哉²（¹熊本県保健環境科学研究所，²熊本県環境生活部環境局環境保全課，³熊本県人吉保健所）

P-72

気象的要因に着目した広域的な PM_{2.5} 高濃度事例の解析(3)－2019 年 2 月－

○大塚 英幸¹，芥川 智子¹，長谷川 就一²，早崎 将光³，清水 厚⁴，菅田 誠治⁴（¹（地独）北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所，²埼玉県環境科学国際センター，³一般財団法人日本自動車研究所，⁴国立研究開発法人国立環境研究所）

P-73

関東甲信静における PM_{2.5} のキャラクターゼーション（第 12 報）

○齊藤 伸治（（公財）東京都環境公社東京都環境科学研究所）

P-74

堺市での粗大・微小大気エアロゾル濃度の長期観測結果(1995-2020)

○伊藤 憲男，溝畑 朗（大阪府立大学）

P-75

日本海側郊外測定局における PM_{2.5} 成分の長期変動解析

○佐藤 啓市¹，高橋 司¹，霍 銘群¹，箕浦 宏明¹，松谷 亮¹，弓場 彬江¹，二見 真理¹，桃井 拓也¹，桐山 悠祐¹，長谷川 真梨子¹，小竹 佑佳¹，開田 有葉²，中田 誠²（¹アジア大気汚染研究センター，²新潟大・農）

P-76

札幌市の大気中多環芳香族炭化水素類の挙動解析及び経年変動

○唐 寧¹，楊 露¹，張 昊¹，張 璇¹，邢 万里¹，王 琰¹，白 芄楚¹，張 露露¹，早川 和一¹，長尾 誠也¹，酒井 茂克²，芥川 智子²（¹金沢大学，²北海道立総合研究機構）

P-77

気象的要因に着目した越境汚染・地域汚染複合型 PM_{2.5} 高濃度事例の解析(2) -2019年5月-

○佐野 七穂¹, 松本 弘子¹, 池盛 文数², 長谷川 就一³, 早崎 将光⁴, 清水 厚⁵, 菅田 誠治⁵ (1福岡市保健環境研究所, 2名古屋市環境科学調査センター, 3埼玉県環境科学国際センター, 4一般財団法人日本自動車研究所, 5国立研究開発法人国立環境研究所)

P-78

気象的要因に着目した大都市圏における PM_{2.5} 高濃度事例の解析(3) -2019年8月-

○根本 創紀¹, 石井 克巳¹, 杉本 恭利², 長谷川 就一³, 早崎 将光⁴, 清水 厚⁵, 菅田 誠治⁵ (1千葉県環境研究センター, 2奈良県景観・環境総合センター, 3埼玉県環境科学国際センター, 4一般財団法人日本自動車研究所, 5国立研究開発法人国立環境研究所)

P-79

気象的要因に着目した広域的な PM_{2.5} 高濃度事例の解析(4) -春季及び秋季の黄砂飛来時-

○荒木 俊¹, 岡本 利洋², 小原 幸敏³, 長谷川 就一⁴, 早崎 将光⁵, 清水 厚⁶, 菅田 誠治⁶ (1山形県環境科学研究センター, 2山口県環境保健センター, 3島根県保健環境科学研究所, 4埼玉県環境科学国際センター, 5一般財団法人日本自動車研究所, 6国立研究開発法人国立環境研究所)

P-80

さいたま市における4年間の PM₁ 及び PM_{2.5} の観察結果

○小山 佑介, 鈴木 隆仁, 城 裕樹 (さいたま市健康科学研究センター)

P-81

島根県における PM_{2.5} 成分濃度の長期変動

○江角 敏明, 小原 幸敏, 草刈 崇志 (島根県保健環境科学研究所)

P-82

富士山体を利用した大気境界層上層および自由対流圏における酸性ガスおよびエアロゾルの長期観測 (4)

○矢田 崇将¹, 大河内 博¹, 大力 充雄¹, 速水 洋¹, 勝見 尚也², 皆巳 幸也², 小林 拓³, 三浦 和彦^{4,11}, 加藤 俊吾⁵, 和田 龍一⁶, 竹内 政樹⁷, 戸田 敬⁸, 米持 真一⁹, 荒井 豊明¹⁰, 福島 颯太¹⁰, 土器屋 由紀子¹¹, 畠山 史郎¹¹ (1早稲田大学, 2石川県立大学, 3山梨大学, 4東京理科大学, 5東京都立大学, 6帝京科学大学, 7徳島大学, 8熊本大学, 9埼玉環境科学国際センター, 10トランステック(株), 11富士山環境研究センター)

P-83

ハイブリッド乗用車の燃費や排ガス等性能への環境温度影響について

○近藤 美則¹, 伏見 暁洋¹, 齊藤 勝美², 山田 裕之³ (1国立環境研究所, 2イサラ研究所, 3東京電機大・工)

P-84

海風吹走パターンの違いがもたらす大気汚染濃度分布 -岡山平野の事例-

○重田 祥範, 宮田 昌 (公立鳥取環境大学)

P-85

茨城県における PM_{2.5} 高濃度事例の発生要因と地域特性について

○小田 直哉, 豊岡 久美子, 田畑 恵 (茨城県霞ヶ浦環境科学センター)

P-86

全国酸性雨調査 (114) -乾性沈着-

○家合 浩明¹, 山口 高志², 池田 有里³, 濱村 研吾⁴, 桐原 仁志⁵, 岩崎 綾⁶ (1新潟県保健環境科学研究所, 2北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所, 3島根県保健環境科学研究所, 4福岡県保健環境研究所, 5鹿児島県環境保健センター, 6沖縄県衛生環境研究所)

P-87

全国酸性雨調査(113) - 湿性沈着 -

○久恒 邦裕¹, 山田 大介², 牧原 秀明³, 菊池 優也⁴, 村田 智穂⁵, 高石 豊⁶, 久保 智子⁶ (1 名古屋市環境科学調査センター, 2 川崎市環境総合研究所, 3 愛知県環境調査センター, 4 福島県環境創造センター, 5 鳥取県衛生環境研究所, 6 兵庫県環境研究センター)

P-88

富士山南東麓森林域における NO_x 酸化物質(NO_z)の特徴

○和田 龍一¹, 定永 靖宗², 加藤 俊吾³, 大河内 博⁴, 森 樹大⁵, 三浦 和彦^{6,7}, 小林 拓⁸, 鴨川 仁⁹, 皆巳 幸也¹⁰, 松見 豊¹¹, 梶野 瑞王¹², 松本 淳⁴, 米村 正一郎¹³, 速水 洋⁴, 土器屋 由紀子⁷, 畠山 史郎^{14,7} (1 帝京科学大, 2 大阪府立大, 3 東京都立大, 4 早稲田大, 5 東京大, 6 東京理科大, 7 富士山環境研究セ, 8 山梨大, 9 静岡県立大, 10 石川県立大, 11 名古屋大, 12 気象研, 13 県立広島大, 14 アジア大気汚染研究セ)

P-89

中部日本に位置する 2 つの森林集水域における降水及び渓流水に溶存する微量元素等の季節変動とその傾向

○諸橋 将雪¹, 四柳 宏基¹, 高橋 雅昭², 齋藤 辰善², 猪股 弥生³, 申 基澈⁴, 陀安 一郎⁴, 大泉 毅¹, 佐瀬 裕之¹ (1 アジア大気汚染研, 2 新潟県, 3 金沢大, 4 地球研)

P-90

酸性物質の濃度と沈着量及び降水量の相関からみた東アジアの酸性沈着の変遷

○大泉 毅¹, 加藤 悠平², 佐藤 啓市¹, 佐瀬 裕之¹ (1 (一財) 日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター, 2 新潟大・院)

P-91

X 線発生装置からの放射線の測定事例

○上治 純子, 根本 創紀, 井上 智博 (千葉県環境研究センター)

P-92

限られた測定回数でのデータを用いた年平均濃度の推定に関する検討

○近藤 啓子, 光崎 純, 村田 麻里子 ((独) 製品評価技術基盤機構)

P-93

車種・走行モードごとの自動車からの NH₃ 排出に関する研究

○鶴丸 央, 陸田 雅彦, 齋藤 伸治 ((公財) 東京都環境公社東京都環境科学研究所)

P-94

劣化したスレート板からのアスベストの飛散

○板野 泰之, 酒井 護, 中尾 賢志, 花田 拓也 (大阪市立環境科学研究センター)

P-95

ドローンを用いた日昇前後の PM_{2.5} および O₃ 鉛直分布観測

○早崎 将光, 伊藤 晃佳 (日本自動車研究所)

P-96

冬季季節風時における降雪中の非海塩起源硫酸イオン濃度—2019,2020 年度比較—

○横山 新紀 (千葉県環境研究センター)

P-97

東京都市部の一般家屋における室内空気質のリアルタイムモニタリング

○田中 伸幸, 服部 俊一, 岩松 俊哉, 三浦 輝久, 堤 富士雄 (電中研)

P-98

大阪府堺市におけるPM_{2.5}化学組成の季節変動

○藤井 佑介¹, 崎谷 亮太¹, 北野 洸太郎¹, Vu Thi Dung¹, 松永 優介¹, Tran Thi Minh Ngoc¹, 塚口 海人¹, 竹中 規訓¹, 大河内 博² (1大阪府立大学, 2早稲田大学)

P-99

東京都におけるPM_{2.5}中無機元素成分の季節変動

○釜谷 光保, 齊藤 伸治 ((公財) 東京都環境公社 東京都環境科学研究所)

P-100

大気アンモニア濃度の短期減少イベントとその要因

○長田 和雄¹, 齊藤 伸治², 鶴丸 央² (1名古屋大学大学院環境学研究科, 2東京都環境科学研究所)

P-101

道路ライブカメラの気温情報を利用した大気汚染要因の解析

○浅川 大地¹, 徳永 友貴², 二村 綾美³, 竹本 光義⁴, 森兼 祥太⁵, 中川 修平⁶, 藍川 昌秀⁷, 曾我 稔⁸, 菅田 誠治⁸ (1大阪市立環境科学センター, 2愛媛県立衛生環境研究所, 3兵庫県環境研究センター, 4広島県立総技研保健環境センター, 5徳島県立保健製薬環境センター, 6福岡県保健環境研究所, 7北九州市立大学, 8国立環境研究所)

P-102

化学輸送モデルによる日本の大気質の長期再現と過去の排出削減策の影響評価実験

○永島 達也^{1,3}, 黒川 純一² (1国立研究開発法人 国立環境研究所, 2アジア大気汚染研究センター, 3筑波大学大学院生命地球科学研究群)

P-103

積雪水量などの実測値と推測値の比較

○山口 高志¹, 野口 泉¹, 丹羽 忍¹, 小南 靖弘², 岡田 啓嗣³, 木村 賢人⁴ (1(地独)北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所, 2農業・食品産業技術総合研究機構, 3北海道大学, 4帯広畜産大学)

P-104

より粗い粒径と非球面形状の相乗効果のためダストによるより少ない大気の放射加熱

○伊藤 彰記¹, Adebisi Adeyemi², Huang Yue², Kok Jasper² (1JAMSTEC, 2UCLA)

P-105

ストレスを暴露したブナ葉における遺伝子発現解析

○武田 麻由子¹, 十河 孝夫², 青野 光子³ (1神奈川県環境科学センター, 2神奈川県農政局大気水質課, 3国立環境研究所)

P-106

マウス吸入曝露試験による硫酸アンモニウムの喘息増悪影響の評価

○雑賀 絢¹, 北條 幹¹, 生嶋 清美¹, 前野 愛¹, 武藤 千恵子¹, 中村 麻里¹, 海鉾 藤文¹, 坂本 義光¹, 湯澤 勝廣¹, 長澤 明道¹, 山本 行男¹, 田中 和良¹, 安藤 弘¹, 大貫 文¹, 五十嵐 剛¹, 秋山 美乃里², 牧 倫郎², 島田 知子², 鈴木 俊也¹, 鈴木 仁¹, 猪又 明子¹, 守安 貴子¹ (1東京都健康安全研究センター, 2東京都福祉保健局健康安全部)

P-107

ディーゼル排気微粒子による肺のアレルギー増悪と細胞外小胞の変化

○市瀬 孝道¹, 定金 香里¹, 池田 彩也香¹, 三上 剛和², 本田 晶子³, 高野 裕久³ (1大分県立看護科学大学, 2新潟大・医歯学総合研究科, 3京都大・地球環境学堂)

P-108

肺上皮細胞における多環芳香族炭化水素の抗原存在下炎症性サイトカイン誘導への増強作用

○三崎 健太郎¹, 高野 裕久^{2,3}, 井上 健一郎¹ (1静岡県大・看護, 2京大・地球環境学堂, 3京大・工・都市環境)

P-109

発生源の異なる環境中微粒子の気管内投与がマウス肺へ及ぼす影響の異同

○宮坂 奈津子¹, 本田 晶子^{1,2}, 佐川 友哉^{2,3}, 赤路 佐希子², 松本 紘武², 定金 香里⁴, 市瀬 孝道⁴, 高野 裕久^{1,2} (1 京大院・地球環境, 2 京大院・工, 3 京府医大・免疫内科, 4 大分県看科大・看護)

P-110

大気有機粒子の各種毒性ポテンシャルに対する発生源寄与

○伏見 暁洋¹, 中島 大介¹, 古山 昭子¹, 鈴木 剛¹, 伊藤 智彦¹, 佐藤 圭¹, 藤谷 雄二¹, 近藤 美則¹, 吉野 彩子¹, Ramasamy Sathiyamurthi², Schauer James³, Fu Pingqing⁴, 高橋 善幸¹, 齊藤 勝美^{1,5}, 齊藤 伸治⁶, 高見 昭憲¹ (1 国立環境研究所, 2 IRCELYON, France, 3 Univ Wisconsin-Madison, USA, 4 Tianjin University, China, 5 イサラ研究所, 6 東京都環境科学研究所)

P-111

発生源ごとの PM2.5 長期曝露と虚血性心疾患有病率との関連 (I): 症例対照研究の計画と対象者の特徴

○堺 温哉¹, 森川 多津子¹, 早崎 将光¹, 伊藤 剛¹, 伊藤 晃佳¹, 中井 里史² (1 日本自動車研究所 環境研究部, 2 横国大・大学院 環境情報研究院)

P-112

屋内外におけるオゾン濃度のパッシブサンプラーと連続測定結果の比較

○余田 佳子¹, 高木 洋², 伊藤 武志², 若松 純子², 島 正之¹ (1 兵庫医科大学公衆衛生学, 2 弓削商船高等専門学校)

P-113

中国の典型的な大都市圏における PM2.5 とオゾン汚染の特性と健康リスク評価

○霍 銘群, 山下 研, 陳 芳 (アジア大気汚染研究センター)

P-114

短時間ソーク後の大型使用過程車からの VOC 排出量～成分組成変化について

○舟久保 千景¹, 岡田 めぐみ¹, 陸田 雅彦¹, 山崎 実¹, 柳井 孝一¹, 矢波 清¹, 我部 正志¹, 秦 寛夫^{1,2} (1 (公財) 東京都環境公社 東京都環境科学研究所, 2 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

P-115

ガソリン自動車の給油キャップ開放時に排出される燃料蒸発ガスの実態把握 (第 1 報)

○内田 里沙, 森川 多津子 (一般財団法人日本自動車研究所)

P-116

木チップボイラーのばいじん及び窒素酸化物排出実態について

○大塚 英幸¹, 丹羽 忍¹, 福田 陽一朗¹, 芥川 智子¹, 仮屋 遼¹, 阿部 佑平² (1 (地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所, 2 (地独) 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所)

P-117

2018 年度版 PM2.5 等大気汚染物質排出インベントリ改良の取り組み 2. 固定発生源等の排出量推計

○笛木 章亘¹, 森川 多津子², 新田 竜太³, 佐藤 厚³, 梅崎 良樹⁴, 小島 建太⁴ (1 株式会社 NTT データ CCS, 2 一般財団法人日本自動車研究所, 3 株式会社数理計画, 4 社会システム株式会社)

P-118

2018 年度版 PM2.5 等大気汚染物質排出インベントリ改良の取り組み 1. 自動車排出量推計

○福地 翔¹, 新田 竜太¹, 佐藤 厚¹, 森川 多津子², 笛木 章亘³, 梅崎 良樹⁴, 小島 建太⁴ (1 株式会社 数理計画, 2 一般財団法人日本自動車研究所, 3 株式会社 NTT データ CCS, 4 社会システム株式会社)

P-119

2018年度版 PM_{2.5}等大気汚染物質排出インベントリ改良の取り組み 3. 全体像および発生源プロフィール

○森川 多津子¹, 笛木 章亘², 新田 竜太³, 佐藤 厚³, 梅崎 良樹⁴, 小島 建太⁴ (1日本自動車研究所, 2NTT データ CCS, 3数理計画, 4社会システム)

P-120

マップ調査と排出インベントリにおける固定燃焼発生源情報の直接比較

○森川 多津子¹, 茶谷 聡² (1日本自動車研究所, 2国立環境研究所)

P-121

UV 照射による含炭素エアロゾルの化学的変質

Vu Thi Dung, , ○藤井 佑介, 竹中 規訓 (大阪府立大学)

P-122

PM_{2.5} およびブラックカーボンの測定法間の差異と時空間的代表性との関連

○藤谷 雄二¹, 高見 昭憲¹, 森野 勇¹, 入江 仁士² (1国立研究開発法人 国立環境研究所, 2千葉大学)

P-123

UAV を用いた大気境界層内の高層気象観測 - ラジオゾンデとの同時観測 -

○岸田 岳士, 小野 浩己, 佐藤 歩, 瀧本 浩史, 後藤 和恭 (電力中央研究所)

P-124

GC-MS/MS による PM_{2.5} 中有機マーカの分析法の検討

○宝輪 勲, 望月 健志郎, 大塚 悠平, 岩山 直樹, 三國 武尊, 向島 雅之, 星野 健太郎 ((株)静環検査センター 大気環境イノベーションセンター)

P-125

AI を用いた位相差顕微鏡画像解析による気中アスベスト繊維の迅速測定に関する基礎的検討

○山本 貴士¹, 岩崎 一晴², 飯田 裕貴子³, 結城 健一³, 仲地 史裕², 山城 勇人², 豊口 敏之³, 寺園 淳¹ (1(国研)国立環境研究所, 2日本エヌ・ユー・エス, 3環境管理センター)

P-126

粉粒体試薬を用いて簡易化した目視式フリッケ化学線量計

○天谷 和夫 (なし)

P-127

粉粒体試薬を用いた目視法 NO₂ 大気汚染簡易測定器

○天谷 和夫 (なし)

P-128

NH₃ 双方向フラックスを導入した CMAQ による東アジアの大気質シミュレーション

○桐山 悠祐, 黒川 純一, 佐藤 啓市 (アジア大気汚染研究センター)

P-129

深層学習モデルによる PM_{2.5} 濃度の予測モデル構築と精度評価

○桐山 悠祐¹, 飯野 翔太², 柴崎 みはる², 平野 瑞歩², 吉村 有史² (1アジア大気汚染研究センター, 2(一財)日本環境衛生センター)

P-130

北海道における降雪・積雪の長期変化

○野口 泉, 山口 高志, 濱原 和広, 芥川 智子, 鈴木 啓明, 長谷川 祥樹, 小野 理 (北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)

P-131

湧水を活用した歩道におけるヒートアイランド対策効果の検証

○中島 寛則（名古屋市環境科学調査センター）

P-132

地方環境研究所の研究成果を行政的に活用していくためには何が必要なのか？

○豊永 悟史^{1,2}, 小原 大翼^{1,3}, 宮崎 康平^{1,4}, 古澤 尚英^{1,5}（¹九州環境政策研究会, ²熊本県保健環境科学研究所, ³熊本県環境生活部環境局環境保全課, ⁴福岡県保健環境研究所, ⁵熊本県人吉保健所）

P-133

大気中マイクロプラスチック調査のための基礎的検討

○松谷 亮¹, 二見 真理¹, 遠藤 智美², 平野 瑞歩², 佐々木 博行³（¹アジア大気汚染研究センター, ²日本環境衛生センター, ³新潟県保健環境科学研究所）

P-134

神戸・阪神地域における紫外線量の多地点観測

○重田 祥範¹, 魚谷 麻貴子¹, 荻原 悠季²（¹公立鳥取環境大学, ²公立鳥取環境大学大学院）